

今月の題字



熊野第二小学校6年生
田村 真奈花さん

町の人口と世帯数

平成26年3月31日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野の自然 (296)

ハイノキ

ハイノキ科



常緑で、枯れ葉は黄色になります。乾燥させた葉は、菓子や餅を黄色く染めるのに用いられました。
樹皮は暗褐色。高さは普通5m、最大10mほどです。近畿地方以西から九州の屋久島まで分布。県内では主に海拔400〜700mの吉備高原面に分布し、モミ・ツガ林や溪谷のウラジロガシ林に多く生育します。熊野町では、南東部の石嶽や石岳山などに分布がほぼ限られています。矢野の絵下山には多く見られます。枝葉を燃やすと、染色の媒染剤に適した良質の灰が多量にとれるため、「灰の木」の名が付けました。別名は、イノコシバ。枝が細く粘り強いいため、捕えたイノシシの足を縛るのに使ったからだと言われます。

挑戦
五年 小田原 月子



【評】 昔話「力太郎」の一番好きな場面を版画で表しました。腕や足の動きを動いているように見えるよう工夫しました。足の指まで細かく表現し、踏ん張っている様子がよくわかります。

熊野第二小学校 5年 小田原 月子さん

【評】 一年間のまとめとして書きました。何事にも挑戦していこうとする強い決意を、太くどっしりとした線で表している作品です。

滑らかで小さく上品な葉に、真っ白な花が映えます。花期は5月頃。深く5裂した合弁花で、直径1〜1.2cm。雌しべは1個、雄しべは多数でよく目立ちます。葉の腋から花序を出し、3〜6個の花をつけます。花には細長い柄があります。果実は卵形で、長さ7〜8mm。10〜11月に熟して、紫黒色になります。葉は互生。無毛で、縁には低い鋸歯があります。表面は濃緑色、裏面は淡緑色で、のっぺりしていて側脈は見えません。葉先は長く尾状に伸びています。長さ1cmほどの葉柄があります。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子



野菜や果物の販売の様子

【えたじま 地産地消まつり】
地元の生産者が直接運営する地産地消まつりを開催します。江田島市内で収穫された野菜や果物の販売、きゅうりのもぎ取り体験やビンゴ大会など楽しいイベントもたくさん予定しています。
時5月17日(土)午前8時半〜なくなり次第終了
所タカノス交流広場(江田島町切串)
問 江田島市農林水産課
0823-40-2770

県内市町発!!
おすすめイベント
ピクニックマップ